第826號　昭和28年（1953年）5月7日（木曜日）　日刊（除月曜）

磐城日日

昭和25年10月6日第三種郵便物認可　昭和26年7月18日運輸省特別扱承認第684號

臨港、運輸省に潰え
役場丸江に快勝す
小名浜職場野球第一日

〝一部既報〟小名浜町職場野球連盟主催の春季野球大会は五日快晴に恵まれて十六チームが参加し盛大に開催された

一中コートAクラス、一小コートBクラスに別れての第一日目の戦績は次の通り

◉役場7―4丸江　優勝候補の本命丸江を破った役場は今季戦の金的で役場清水投手非常な好調で打たせずポークで一点を許した後六回に三点を許したのみで丸江の打撃をおさえ、攻めては丸江小野投手の乱れに乗じて五回表一挙六点をたゝき出して大勢を決し、最終回駄目押しの一点を加えてふり切つた

◉運輸省7―4臨港　優勝候補同志の対戦で注目を集めたが臨港意外にふるわず結局運輸省に屈した

◉消防署9―2日星　日星角田の公傷欠場は致命的な日星弱化となり高久出も充分な投球出来ず遂に涙を呑んだ

◉水試16―9海保　意外な大荒れとなり海の猛者の同志討ち、結局海上保安部、及ばず十六点と大量を許るして敗退

（Bクラス）

◉丸浜21―1警産　問題なく一方的ゲームとなり丸浜Bクラス優勝候補の貫禄充分に電産を一蹴

◉織維8―2郵便局　力戦空しくこれも問題なく織維好調

◉警日15―8警察　先づ今季戦中の珍プレー中の組合わせ、爆笑の坩堝と化した、この一戦はどちらが勝つかよりもどちらが負けるかが興味の中心、警察▽署、署全管下を動員して署長以下次席、部長と御大がガン首を並べて醜態の限りを尽したもの

爆笑裡の一戦
日日の打棒に警察惜敗

公民館活動と
伸びゆく青年学級

最近勤労青少年のための青年学級がとみに盛んになつて来た

現在全國の受講生は八十余万（九千六百余学級）に數えられ、全國的には東北地方が盛んで学級數に於ては福島、石川、新潟三縣が九百を超え、次いで宮城、岩手の順で其の他の地方としては九州が盛んなようである

これら青年學級に対する熱意は非常なものであつて、本縣の如きは在町村青年の約半數を目標とし縣下全町村実施の方針を樹て各町村毎に教科課程を設けてカリキュラムを編成していることは周知の通りであるが、愛知縣では夜間高校にも行けない青少年のために工場関係の勤労学校と地域の青年学級との二本建、また石川縣では四カ年の基礎研究科がおいてあるとのように青年学級は仂く青年にとつて学校教育の盲点を補う役割をもつものとして青少年間に相当関心が強まつている、例えばグループ・ワークが形づくられ青少年の研究心が向上した、青年が無駄遊びしなくなり学校に協力するようになつた選擧投票率がよくなつたことがわかつた実例さへある

青年學級は社会学級や成人学校を母体として青少年の間から自發的に起つものゝしく日冷と對陣日冷、人手不足にかゝわらず築め選手、遂にかなわず軍門に下つた

準決勝は十日行われ一中コートはAクラス午前九時より役場對運輸省、十一時より消防署對水産試験場、決勝戦は二時からまたBクラス一小コートではやはり午前九時から丸浜對織維組合、十一時より磐城日日對臨港で決勝戦は二時から、夫々優勝旗、優勝カップをかけて覇を競う事になる

勞災保険の賃金協定

勞基所では六日小名浜機船底曳網漁協に係官を派して勞災保険平均賃金協定打合せ会を開いた

廳舍設計の件など
七日小名浜町協議会

小名浜町議会協議会は本七日午後一時から公民館講堂に於て開かれる協議案は

▽役場廳舍建築について

▽小名浜都市計画第一土地区画整理事業施行について

の二件で役場廳舍は數次の協議会を開いた結果敷地を予定の公民館講堂建築設計は縣コンクリートに意見の一致を見、当局は敷地の地力檢査を済ませ早急設計にとりかゝる段取りとなつたので今次協議會は廳舍の設計内容などについて協議檢討するものなので、實際はまだ公民館の講座めいたものから一定の學校形態を備えたものなどきちまちで、また指導者の人材と経費の不足がどこでも大きな悩みとなつている、またこれら学級は昔の青年学校に逆戻りする恐れもあると反対する聲もある、今後の青年学級をどう育てて行くかについては、轉業教育を重視するのと基礎教育と並行させるのがよいとあるが、文部省では社会教育の範圍内で学校教育と並行して行くべきだとしている、その一面多少の問題も殘つているが、全國を平均して義務教育修了者の八十%にも及ぶ高校不就学青年の社会教育をどう育てゝ行くことが関心事である

本年度事業計畫など
水産後援會總會

縣立小名浜水産高等學校後援会總会はきよう七日午前十時から全校校長室に於いて開き、▽二十七年度事業報告▽二十七年度会計報告、ほか▽二十八年度事業計畫▽寄附金募集の件などを協議する

起債認可は早い
小名港当局喜ぶ

〝既報〟五日小名浜港埋立て工事、荷役機械の起債関係で來浜した地方自治廳山下事務官は縣黒川財政課長ら職員及び浜田小名浜港務所長の案内で

規定の視察を終えて歸廳後一時から小名浜港務所で行われる

予算は一千百万円（セメントなどを含む）で掘江工業KK、磐城土建KK（以上平市）三崎組、常磐土建KK、前澤工業KK（以上小名濱町）などにより入札が行なわれることになる

グレーン工事の入札
七日小名浜で

小名浜港荷役設備の強化を圖るために設置される永平引込式グレーンの工事の入札はきよう七日午後一時から小名浜港務所で行われる

予算は一千百万円（セメントなどを含む）で掘江工業KK、磐城土建KK（以上平市）三崎組、常磐土建KK、前澤工業KK（以上小名濱町）などにより入札が行なわれることになる

水素中央委員会

日本水素勞組の中央委員会は六日午後〇時半から開き▽經營協議会の報告▽時間外勞仂協約などについて協議する

目標は十一萬五千
小名の白い羽根運動

〝緑の羽根〟に續いて一日から〝白い羽根〟募金運動が全國一齊に行われ人々の胸も緑から白の赤十字と衣がえしているが小名浜町に於ても目標の十二万五千百十円を完遂する爲に六日午後一時から公民館に於いて区長會町議會厚生委員会、各高中、小學校、民生委員会など協力團体の代表者會議を開き、募金運動の方法について協議を行つた

海上行樂に
保安部事故防止

海上行樂のシーズンを迎えるに當り小名浜海上保安部では小型遊覽船の轉覆事件が續發しているので定員超過などを監視し事故防止に当ることになつた

母の日行事
植田公民館

植田町公民館では十日の「母の日」小学校講堂に小中学校兒童、生徒が集つて兒童代表（小、中学校）が花束を贈り母への感謝の言葉を贈ることになつている

またこの日は各部落單位に日頃の勞苦を感謝する意味で種々心盡しの余興が繰り擴げられる他、子供音樂会、遊戲、映畫觀賞会など盛澤山の「母の日」の記念行事が行われるなおこの日植田町婦人會（会長古川クラ氏）では植田小学校講堂に講師吉屋貞一氏を招いて講演会を開くことになつた

小名浜見學
郡山の小學生

五日郡山市第二芳山小学校兒童ら二百名は小名浜町を訪れて魚市場、公園保安部などを見學して歸校した

春季清掃（植田）

植田町では六日町内一齊に春季衛生掃除を実施した

磐城日日新聞社
福島縣小名浜町潴迺51番
電話代表387
編集兼発行人　郎芳瀬長

印刷
社會式株印刷機關
印刷・用紙
事務・チラシ
瀬長印刷所
TEL219・387

◎お知らせ◎

当社が皆様へ贈る月賦住宅の大奉仕!!

業種　土木建築の請負
　　住宅の建築賣買
　　月賦払の住宅

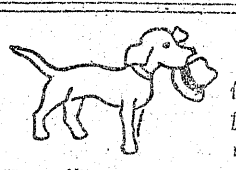
一、月掛二五〇円二ヶ年積立
二、契約金七五、〇〇〇円拂込に依り直に自分の住宅が建ちます
三、電氣、水道完備
但し同一場所に十戸以上建設計画有り御希望の方は至急申込み下さい

小名浜町下明神町三四
磐城土地建物会社
株式

経營をかけずに買い品安く

新緑旅行シーズン
修学旅行にポストン手提鞄
旅行セット、ハンドバック
レインコート、絹ビニール
黒別珍婦人靴450円より
男女雨靴長靴洋傘パラソル
婦人セーターギヤバ中高新安値
丸首メリヤス女性洋傘
化粧品柳屋メヌマ
ジユジユピリオ　80円絹
今評判の『ちどり』フトン

つまづき洋傘
洋傘一本毎に抽籤券一枚



チケット歓迎
平マーケット
小名浜第二小学校前電二七
営業の店

別館新築御披露

此の度旅館新築中の『別館』が完成致しました平素の御愛顧に感謝しこゝに御披露申上げます

‖梓を焚らした弊館自慢の別館‖
※若葉薫今日この頃白鳥は金山『つゞじ』の花が滿開です
※閑靜なお部屋!!奇麗なお風呂!!
※小宴会に!!御家族連れに是非皆様の御来遊をお待ちしております
‖湯治と御遊山をかねた白鳥温泉‖

白鳥讓泉　春木屋
磐崎村白鳥電話湯本一二四番
湯本駅前案内所電話湯本三六四番
湯本駅よりサービスカーで約十五分です

印刷の御用命は
ナカセイサツ株式会社
小名浜町潴迺り電二一九

第826号　昭和28年（1953年）5月7日（木曜日）　日日日　磐城日日　新聞定価一カ月60円　一部賣3円（月曜休刊）　第三種郵便物認可　【2】

ヤッコ大名行列など 十四年振りに復活

きょうから三日間 諏訪神社大祭

七年毎に行われる渡邊村中釜戸、諏訪神社大祭の奴大名行列は、戦時中一時中止されたが地元の衆望があり、本年よりこれを十四年振りに復活することになり、きょう七日から三日間、それぞれ盛大に挙行されることになつた

七日は笠揃祭、八日は磯出祭、九日は笠抜祭の順で、明八日は神輿渡御と往時を偲ぶ奴つこ大名行列が延々長蛇、神社から泉町下川まで續き近郷近在は勿論、遠くは相馬、中通りを始め東京からの黒山の觀客が豫想されている

地元渡辺村及び行列の沿道泉町では、早くから七五三繩を張りめぐらし兩町村とも祭り氣分に醉うている、泉町の沿道には古典懐かしい大名行列を拜觀しようと其處此處に二丁余に及ぶ幔幕を設けて待ちあぐんでいる

このため八日は隣接泉町制施行祝賀會と並行し、泉駅は相當雑踏する見込みのため、次のように臨時列車を増發することになつた（泉駅着及び發車時刻）

一〇時三二分　泉駅着
一二時四二分　仝
一三時五〇分　仝
一五時〇〇分　磯原行
一八時二〇分　高萩行
一九時〇〇分　勿来行
下り
八時五六分　泉駅着
一二時三四分　仝
一五時二〇分　平行
一六時四〇分　仝
一九時五五分　仝
二〇時三〇分　仝

水産高校のPTA総会

縣立小名浜水産高校PTA（会長野崎貞行氏）の二十八年度總会は十日午後一時から仝校講堂で開き二十七年度決算報告の後ち二十八年度予算審議と役員の改選を行う

想隨 七年前の春を想う

七年前の昭和廿一年の今頃は、長かつた戦争のすんだ後の初めての春がめぐり来たけれど世間は不安で暗々しかつた

食べるものがない、米がないという事で人々が意地になり、いつ頃になれば相當の餓死するものが出るという予定さえ立てた

四月中旬から五月初めにかけては、お天氣の悪い日が多く、雨もよく降つたが、無茶苦茶な春風が吹き荒れて、防空壕の穴の上に乗つかつた三疊敷の小屋に雨露を凌いでいる私は安き心もなかつた

雨風の時などはドシンドシンと小屋をゆすり中に坐つていられなくなる本當に苦痛に堪えたとう青大前から歩いていたら澁谷の交叉点まで来た時遠方の空にサイレンの音が鳴り響いた、何という無氣味な音よ、以前だつたら引き返すか早くどこかにかくれる考えをしなければならない

空襲警報がならなくなつてから八カ月たつていたけれど、あの爆音と警報はまだこわく全く膽を潰すところであつた

お蔭で空襲はハタと止み平和の曙光が見え出した頃、去来する心の動揺は何處へか消え失せてしまい、今は美しいそして雄大な山に抱かれた石城の一山村に居を構え、小鳥と共に放歌し花と共に語らい、都塵をのがれて靜思、晴耕雨讀、ペンに明け暮れているようなものに花は十五日頃まで盛りであるが、當時八幡の通りに咲き匂つたけれど、戦争に負けてから無暗に人が枝を折り出した

隣りに別館を新築中であつたがこの程見事に完成した

新裝の「別館」春木屋は建坪三八坪、五室で当館自漫の家族風呂の趣向は主人織内氏の考案だけにその出來榮えは實に大したものである

また卓球、碁、將棋、麻雀、トランプなどの遊戯設備がある他庭園にはブランコ滑り台などの施設も着々計畫を進めており

小島の運動靴

團体、アベック組、家族連れ共に万全のサービスを期している

また春木屋庭園を初め白鳥地内の全山は五月のつゝじにおゝわれており今日との頃の白鳥はつゝじの花と共にわが世の春を奏でている

審判協会が獨立

夏も近かずく八十八夜、野球シーズンもタケナワとなり地方球界も活發な試合が各地にプランされているが從來小名浜野球協会に審判部は片浜地區野球界の一層の向上發展に資する爲協会から獨立して四月一日發會式を擧げ遊佐軍之助氏を會長に小名濱野球協会として發足、事務所を小名浜町船引場四三番地尾伊太郎氏方（電三四番）に置いて野球道の確立、理論及び技術の指導面と浜発な活動を展開すると共に野球人の親睦を図つているなお審判を依頼する場合は試合の二十四時間前に報酬金一試合二百円を添えて依頼することになつている

第二回發表会

双葉バロー研究会で

双葉バロー研究会の第三回發表会は泉の町制施行祝賀を記念して十日午後一時から泉町小学校講堂に於いて盛大に行なわれる事になつた

双葉バロー研究会は西田潮氏を中心に泉、小名浜平、錦などに於て会員二百余名を擁して活發なバレー日本舞踊などの研究を行つて来たもので、十日の發表會には第一部、会員の創作舞踊數間ウタ子さんの「キャラバン」など六品　バレー「花物語」「ウインの森の物語り」など二十二品、第三部、舞踊劇「甚兵ェさんとたぬき」バレー「悲しき戀」となつており、脚色舞踊指導は西田潮氏、樂團は後藤順三氏指揮の吳羽化学バンド、唄は山脇百合子さん渡辺和子さん、長谷川昭子さん、舞台裝置渡辺秋水氏、照明は吳羽化学演劇部が擔當するなどスタッフ陣も豪華メンバーを揃えて相當の成果が期待され、泉町制施行祝賀祭の掉尾を飾つて盛會が予想される

泉少年野球

町制祝賀レク

去る四月一日町制實施された泉町では、町制祝賀レクリエーションの一環として、五日午前九時から泉中グラウンドに於て町内少年野球大会を開き参加チームは泉町、八木屋、下川、舊藩、滝尻、玉露、本谷、駅前で試合の結果下川が優勝を獲得午後四時半閉幕した

港灣会社の爭議

退職金問題でもめる

全員退職の申入れを宣言し巷間の注目を浴びている小名浜港灣運送会社の爭議はその後惡化の一途を辿りつつある、三日の第二回団交に会社は「あくまで全員退職するならば、退職金は支拂う、但し現在の經営不振狀態からして五カ月間の分割支拂にして貰いたい」と回答があつたこの回答に対して組合では「全員退職支拂え」と對立している更らに組合が先きに行つた宣言文の中に「吾々は全員退職すると共に規定の退職金が要求するものなり」云々について「全員の退職を決議することを發しているから丸潰から解雇させたのは当然だ」とする会社側の見解と、また組合では「全員退職する云々の申入れは一つの勞仂運動の課程であり組合に何等の通告もせずに丸浜から解雇したとは会社の暴擧である」と字句上に対する見解の相違が遂に激化している

全員退職の異例の中でまたまた五カ月分割の退職金支拂いと、宣言文中の字句上などから異例を呼んでいる

組合の全員退職の動機は▽經営の見透しが全くつかぬ▽給料の支拂いの見透しも全然ない▽会社企業維持費（月五十万円）もドロマイト月二千噸しか入つておらず赤字が三十万円も出ている▽企業を大巾に縮少、又は人權費をあつさくするより途はないからである、との見解によるものとしており、會社が現在組合員關係の給料總額約八万四千円（全体の一六%）を致命的なものであるとして会社經営不振の責任を組合員に押しつけている

また西丸社長は株主への申開きとして社長の責任上から企業を維持するために從業員の首切りも止むを得ない、としているとの見解から組合では新らたに斗爭方針を樹立して万全の対策を協議した模様である

全組合は結成以来斯界から「御用組合」と非難されている程勞資協調の実を挙げている注目の組合である

會社は組合の結束に対して内部崩潰に躍起となつている感が深いが、しかし「退職決議」「退職金五カ月分割拂い」などの間題から新らたな破綻を招来することが必至であると見られており、また組合では水素勞組を訪問して何らかの支援を要請したものと見られ愈々注目されて来た

白鳥礦泉 つゝじで賑う

磐崎村白鳥礦泉「春木屋」では去る二月より湯本町鈴木建設株式会社（社長近藤一利氏）の請負で同村白鳥「春木屋」を舘鬱蒼と咲きこぼれている大枝を折つてゾロゾロ引きずつて行く男を見やると、相手もこわい目で睨み返す、燃料がねえんだよと腹の中で云つているらしかつた

それが今では枝折る徒ずら者はなく美事に咲き誇る路行く人々の足を止めているではないか

願うは平和な美しい春の訪れを幾年もつづかせたい

（K）

＝9日マデ＝
人怪の樓天摩
んぶ接女て劍悲
ウイナスの
映画館

天氣豫報 7

（本日）東よりの風時々やや強よく曇り、時々雨が降りますが後北よりの風となり次第に恢復して来ましょう

（海上）東よりの風強よく風浪が高く時化氣味でしょう

魚菜市況 6

（小名浜中央青果市場）

卵八、五〇～九大根一一～五五人蔘五〇～九六牛蒡一六五～一七〇馬鈴薯四〇～六五甘藷三八～四六里いも四〇～七〇うど六〇～一〇〇れんこん一三〇～一五〇たけのこ一七五～二〇六玉葉一七〇きうり（一本）一〇～一五

お!! これは安い
菅原の祭典祝大賣出し
並に靴の入札販賣
★五月五日より十五日まで★
高級紳士靴　1800円より
〃婦人靴　300円より

入札方法
お値段はお客様にきめて戴きます
5月5日より15日までの賣出し期間中限定した商品を店頭に陳列してありますから商品希望の靴に御希委託ごらんの上御希望の値段で入札して下さいます
細は御来店の上説明致します

春の運動、修學旅行に
先ず靴の選擇より
バスケツト靴　ヒール付布靴
ハンバス靴　ビロード靴
ランニング靴　サドルシューズ
アメ底布靴　パンプス
運動靴ゴム靴専門店
小島ゴム店
小名浜第一小学校前　電話340番

平マーケット サービス券
50圓（この切取券1つで御利用下さい）
現金300圓以上御買上に50圓として通用
皆様の店 平マーケット 電297

高級紳士服
中野洋服店
小名浜町　船曳場

経済で美味しい……
『信州味噌』を
特約致しました
是非一度御試食を……
お願い致します
小名浜町中島
特約店 正駒酒店
小名浜町本町銀座
同 加藤屋商店

二募集二
一、職業　自転車組立及修理
一、年令　二十才ヨリ三十才マデ
一、人員　若干名（經験者）
一、給与其の他委細面談の上
小名浜町第二小學校前
吉田自轉車商會
電話八九番

内科
小兒科
レントゲン
堀越醫院
小名浜町上横町
電話三七三番